

第 5 回 多職種連携研修部会報告書

日 時	令和 2 年 1 月 2 9 日 (水) 2 0 : 2 0 ~ 2 1 : 1 0		
場 所	高松市医師会館 2 階 中会議室		
出席者	■ 吉澤委員長 ■ 大原部会長 □ 井下委員 ■ 大橋委員 ■ 長内委員 ■ 永岡委員 ■ 中村委員 ■ 林委員 ■ 古川委員 ■ 三橋委員		9 名
事務局	高松市社会福祉協議会 大川氏 高松市医師会 山地係長、真鍋氏、宇佐見氏 長寿福祉課 徳重主幹、久保補佐、長樂係長、山崎師長		8 名
議 題	1 令和元年度在宅医療と介護に関する市民公開講座について 2 今後のスケジュールについて		
結 果	<p>1 令和元年度在宅医療と介護に関する市民公開講座について</p> <p>○開催要領及びタイムスケジュールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 柔らかい雰囲気を出すため、司会は大原部会長から古川委員へ変更 ・ 下記については、当日までに資料等を作成し、メールにて委員に連絡する 当日の全体進行（台本）、役割分担 会場のレイアウトと掲示物の作成・設置 受付方法の確認と準備、キャンセル者の取り扱い 等 ・ 当日配布資料：第一部説明補足ちらし、高齢者のためのあんしんガイドブック、在宅医療支援センターパンフレット、参加者用アンケート 等 <p>○第一部の内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 骨子（案）の内容で問題なし。医療側一長内委員、介護側一大川氏の担当とし、会話をしていくように進行する。入院中の A さんをモデルに、説明補足ちらし（案）に沿って入院→退院→退院後まで時間を追いながら、関わる専門職について説明する。一般の方にとって難しい表現や専門用語はわかりやすい言葉に変更すること。 ・ ちらし（案）は、A4→A3二つ折りに変更し、フォントはもう少し大きく、各専門職の役割について、説明を入れる。 <p>○在宅ケアに関する啓発動画の活用方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ロビーにテレビモニターを設置し、そこで DVD を流すようにする。 <p>○参加者アンケートについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 性別を問う質問は削除する。 ・ 問 5 について、「人生会議」という標記を設問の中に入れる。 <p>2 今後のスケジュールについて</p> <p>○当日までの決定事項及び修正した資料の確認については、メールにてやりとりする。</p> <p>○第一部のデモンストレーションを 2 月 2 1 日（金）退院支援・医療介護連携部会終了後に医師会 5 階大ホールにて実施予定。</p>		